



「NHK教育フェア 2009」の実施結果について

平成 21 年 10 月 22 日 (木) ~ 11 月 3 日 (火・祝)

公共放送 NHK の多様な教育サービスを、視聴者やイベントの参加者に広く知ってもらい、教育テレビ開設 50 周年をエポックとして、更なる信頼の醸成に努めた。

1. NHK 秋のふれあい広場～教育フェア 2009～ 10 月 31 日(土)～11 月 3 日(火・祝)

「NHK 教育フェア」の中核をなす視聴者ふれあいイベント。今年は教育テレビ 50 周年記念番組「新・三銃士」の人形劇ミニ・ライブをはじめとするショーや展示で、3 世代のお客様をお迎えした。

4 日間の総入場者数： 91,853 人 (参考：昨年度 93,029 人)

《イベント内容 総括》

○教育テレビの今と昔：記念番組「新・三銃士」と ETV50

50 周年記念の人形劇「新・三銃士」の人形の実物展示やライブを通じて、教育フェア全体を盛り上げた。その隣には、「ETV50 もう一度見たい教育テレビ」コーナーを設置。一年間にわたって視聴者から寄せられたリクエストをもとに 50 年の歩みを俯瞰した。総投票数は会期中に 50 万票を突破した。

来場者から寄せられた投票リクエスト用紙数： 4 日間合計 4,920 枚 (昨年度 3,346 枚)

○未来の教育テレビ・デジタルコンテンツの魅力

新しいサービス「NHK クリエイティブ・ライブラリー」や科学映像のデータベース「クロスメディア理科」、メディアリテラシー「IT ホワイトボックス」などを展示紹介。親子でデジタル時代のコンテンツを体験していただいた。なお「NHK クリエイティブ・ライブラリー」は 31 日に 28 万、1 日には 54 万ビューを超え、NHK オンラインのトップとなった。また 4 階の会場では、児童・幼児とそのファミリーの来場者を中心に、360 の作品が作られた。

○体験して楽しむキッズ・スタジオ（CR505）

505 ラジオ・スタジオでは、子ども番組の遊びのアイデア（迷路やクイズなど）を生かすとともに、クロマキーや効果音、3D映像などプロの放送技術に触れながら、親子で楽しく遊んでいただいた。

○大人も楽しめる生活実用と囲碁・将棋道場

「囲碁・将棋のコーナーではプロが来場。初心者向けのミニ講座を開設、3世代に楽しんでいただく催しとして終日賑わった。また、「住まい自分流」「おしゃれ工房」の今秋の放送内容をもとに今すぐ暮らしに役立つ展示を行った。

○ふれあいホールの活用

「えいごであそぼ」などの子ども番組や「ETV50ショー」などを行い、来場者に参加していただくとともに、そのもようを生放送の中で紹介した。これまでの正面玄関ステージに比べ、落ち着いた演出が実現できた。

○屋外会場・キッズステージで行われる多彩なショー

屋外に特設した「キッズステージ」で、教育テレビの番組と連動した多彩なショーが行われた。「いないいないばあっ！」や「ざわざわ森のがんこちゃん」などの人気キャラクターやどーもくんが登場して、親子の観客とともに歌やクイズなどで、盛りあがった。

○会場から視聴者参加の生放送

初日の10月31日（土）は、「生放送！ETV50 学ぶ冒険～NHK教育フェア2009～」として会場から熱気あふれる生放送を朝から夕方まで5時間半にわたって送出。4階・5階の会場、ふれあいホール、屋外ステージなど、来場者の皆さんとともに生放送を送った。大阪局からはストレッチマン・ショーが参加。

○同時開催イベント

□10月31日（土）～11月1日（日） 「ふるさとの食にっぽんの食」東京フェスティバル

□10月31日（土）～11月3日（火・祝）

NHKホール「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（有料ファミリーイベント）

□10月31日（土）～11月3日（火・祝） スタジオパークは視聴者感謝デー（無料公開）

□10月31日（土）～11月1日（日）「渋谷区くみんの広場」（ふれあいホール・代々木公園他）

■ 周知活動

NHKオンデマンド室の協力により、展示コーナーの中で「NHK オンデマンド」の周知を

行い、アクセスの仕方などを紹介した。また、新しくスタートした「NHKネットクラブ」についての紹介もNHK 3スクリーンのコーナーで行った。これらは教育フェアのホームページとも連動している。

また、キッズステージでは、「地デジ DE どーも」を上演、親しみ易く地デジ促進を行った。

2. 第 36 回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール 10 月 22 日(木)～28 日(水)

・昨年度 『教育番組』から『音と映像を用いた教育コンテンツ』にリニューアル、さらに展開。

○今年のエントリーは史上最多

・総数：324本（コンテンツ部門250、シリーズ番組部門 44 企画部門 30）

・応募：世界65の国・地域 196機関

○今年の受賞

・グランプリ日本賞（コンテンツ部門最高賞）：

「きみのニュースはなーに？」 制作：TTアニメーション（イギリス）

・シリーズ番組部門：

「ワンダーペット！」 制作：リトル・エアープレイン・プロダクションズ（アメリカ）

・企画部門： 「ねえ、知ってる？」 企画：スワジランド・テレビ（スワジランド）

○開催実績

・期間中参加者：31カ国・地域、313人（審査委員、一般参加登録者、授賞式出席者）

・審査委員：12ヶ国 14人

・授賞式：10月28日（101スタジオ） 皇太子殿下ご臨席のもと、各賞受賞者、審査委員、一般参加者、各賞授与団体、在日大使館関係者など約300人を迎え、吉田兄弟による津軽三味線の演奏をまじえ、活気のある着実な式典として実施した。

○関連番組

・「第36回日本賞授賞式 輝け教育コンテンツ」

11月1日（日） 後9:00～10:00 教育

・「第36回日本賞受賞作品」 今年の受賞作品を一挙放送

11月2日（月） 後6:00～8:00 教育

12月26日（土） NHKワールドプレミアムで再放送予定

■ 周知活動

国際放送局の要請により、開催期間中、参加者ラウンジとクロスメディア・フォーラム会場でNHKがホストを務めるPBI（世界公共放送会議：12月 於京都）のパンフレットを配布、周知に努めた。

3. 学ぶ冒険！視聴者とともに作る特別編成

10月24日(土)～11月3日(火・祝)

今年は、期間を通じて教育テレビの「過去・現在・未来」を感じることでできる特別編成を実施した。期間前半は、「ETV50 もう一度見たい教育テレビ」の第4弾として、視聴者からのリクエストで上位にランキングされた教養番組を紹介する特集番組。期間編成の軸となるテレソンでは、「新・三銃士」の人形展示をはじめとしたイベントの見どころや教育テレビで放送中の多彩なコンテンツを紹介した。「もう一度見たい教育テレビ」へのリクエストは、テレソン当日に投票総数50万票を突破するなど効果的なPRとなった。また、期間後半で紹介した日本賞受賞作品は、ウェブサイトやゲームソフトも含まれ、未来の教育コンテンツの可能性を感じさせるものであった。これ以外にも、年間を通じて展開しているキャンペーン「子どもサポートネット」、「名医にQスペシャル2009」など定時番組スペシャルも好評で、教育テレビならではの番組群が視聴者の関心・知的好奇心に大いに応える編成となった。

4. 「アジア教育プロデューサー会議」:10月23日(金)～28日(水)

前半の舞台は兵庫県豊岡市。「ABU未来への航海」で活躍したアジア6カ国の10代たち17人が再会し、そこで行われるコウノトリ保護活動の学習イベントにプロデューサーとともに参加した。後半は放送センターにアジアの6カ国10人のプロデューサーたちが集い、「ABU未来への航海」の総括会議とした。

○関連番組

・「ABU未来への航海 アジアの10代からの環境メッセージ」

11月3日(火・祝) 前9:00～10:00 教育

今回の学習活動を交え、過去3回のプロジェクト「森・砂漠・海」を振り返った。

5. 第10回NHKアジア・フィルム・フェスティバル:10月24日(土)～29日(木)

1995年映画誕生100年を記念して、NHKはアジア諸国の新進気鋭の映画監督と映画の国際共同制作を始めた。映画制作を通じ互いの文化を理解しあうと共に、アジアの映像文化の振興、発展に寄与する事を目的に、映画制作にとどまらず作品の上映を行なっている。2009年までに制作した映画は20の国と地域で29作品となった。今年から開催時期を1週間前倒して日本賞・教育フェアとの連動を図った。

会場：NHKみんなの広場ふれあいホール (入場料 500円)

入場者数： 1, 139人 (参考：昨年度 1919人)

■上映作品

国際共同制作：「ピノイ・サンデー」（台湾＝フィリピン＝フランス＝NHK）

アジア各国・地域制作：「タハーン～ロバと少年～」(インド)、

「キャプテン アブ・ラーイド」(ヨルダン)、

「トゥルー・ヌーン」(タジキスタン)、

「シャングリラ」(中国)

10周年記念アンコール上映作品：「アフガン・零年：OSAMA」(アフガニスタン・NHK)

「ペパーミント・キャンディー」(韓国・NHK) 「リトル・チュン」(香港・NHK)

■関連番組

・「僕たちのキックオフ」(イラク・クルディスタン地域＝NHK 2008年作品)など2006～2008年制作の5作品を9月にBSHiで放送。

・同5作品を10月にBS2で放送。

【資料】

第36回「日本賞」受賞作品一覧

賞	タイトル	国名・地域名	機関名	種別
グランプリ日本賞	きみのニュースはなーに？	イギリス	TTアニメーション(TTA)	リニアコンテンツ

<コンテンツ部門>

賞	タイトル	国名・地域名	機関名	種別
幼児向けカテゴリー	総務大臣賞	きみのニュースはなーに？	TTアニメーション(TTA)	リニアコンテンツ
児童向けカテゴリー	文部科学大臣賞	小さな彫刻家	キリスト教放送(KRO)	リニアコンテンツ
青少年向けカテゴリー	外務大臣賞	『種の起源』を実験する	イギリス公開大学ワールドワイド	リニアコンテンツ
生涯教育カテゴリー	東京都知事賞	シャークワールド	ランジ・シリアス・ゲームズ	ウェブサイト
福祉教育カテゴリー	NHK会長賞	絆よ、再び	デンマーク放送協会(DR)	リニアコンテンツ
特別賞	国際交流基金理事長賞	アフガン難民の苦悩 祖国は今	シネグラム(CINEGRAM)	リニアコンテンツ
特別賞	ユニセフ賞	ひばり	NTV	リニアコンテンツ

<シリーズ番組部門>

賞	タイトル	国名・地域名	機関名	対象
最優秀賞	前田賞	ワンダーベッツ！	アメリカ	リトル・エアープレイン・プロダクションズ(LAP)

<企画部門>

賞	タイトル	国名・地域名	機関名
最優秀賞	放送文化基金賞	ねえ、知ってる？	スワジランド・テレビ
特別賞	日本ユネスコ協会 連盟賞	ツェハイ 文字を学ぶ	ウィズ・キッズ・ワークショップ